

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



ハンサムな、でも
おろかな王さま



ぶん
文: Edward Hughes

え
絵: Janie Forest

かいさくしゃ
改作者: Lyn Doerksen

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ
出版社: Bible for Children

www.M1914.org

©2007 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし また
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、
きよか
許可されています。



イスラエルでリーダーであったサムエルは、人々を裁く人として、みんなに正しいこと、正しくないことを教えていました。でもね、そのサムエルもだんだん年をとってきました。そこでサムエルは、

2人のむすこに、かれの代わりにさせることにしました。神さまに仕え、

イスラエルの人々を裁く人となるようにね。けれども、むすこたちは、あまりよくない人たちだったのです。かれらは、

お金が大好きなのです。かれらは、主に仕えないで、

自分たちの力を、お金をごまかしてもうけるためばかりに使っていました。



ひとびと さば ひと ただ

ただ

おし

とし

ふたり

か

かみ

つか

ひとびと

さば

ひと

ひと

かね

だいす

しゅ

つか

じぶん

ちから

かね

つか



ひとびと

わる

おこな

イスラエルの人々は、サムエルのむすこたちがとても悪く、ひどい行いばかり

かね

かんが

していたのでほんとうにたいへんです。お金をもうけることばかり考えている

さば

ただ

おこな

ひとびと

さば

かれらの裁きは、正しく行われませんでした。人々は、裁いてもらうたびに、

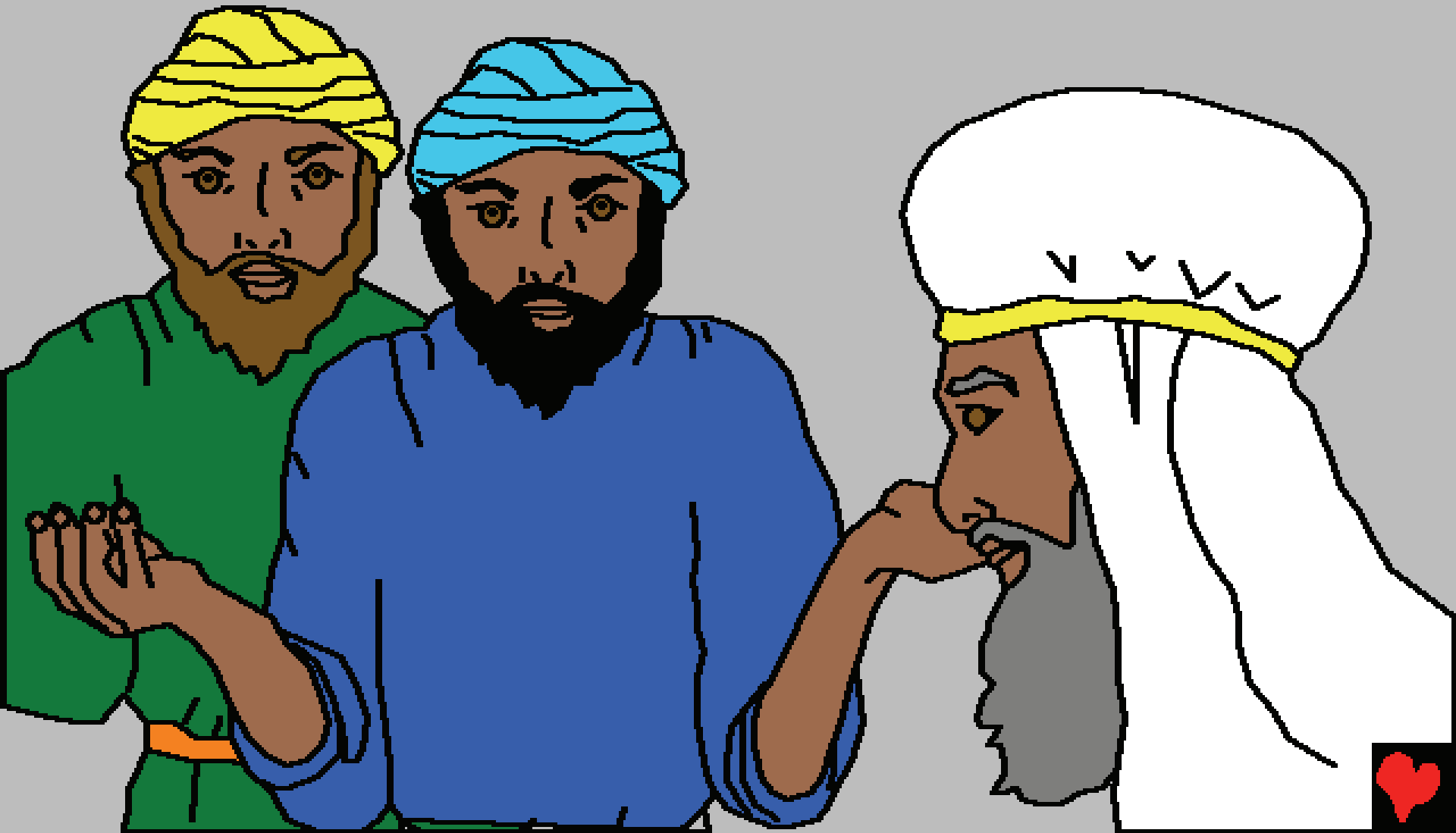
かね

はら

サムエルのむすこたちにお金を払わなければなりません
りませんでした。

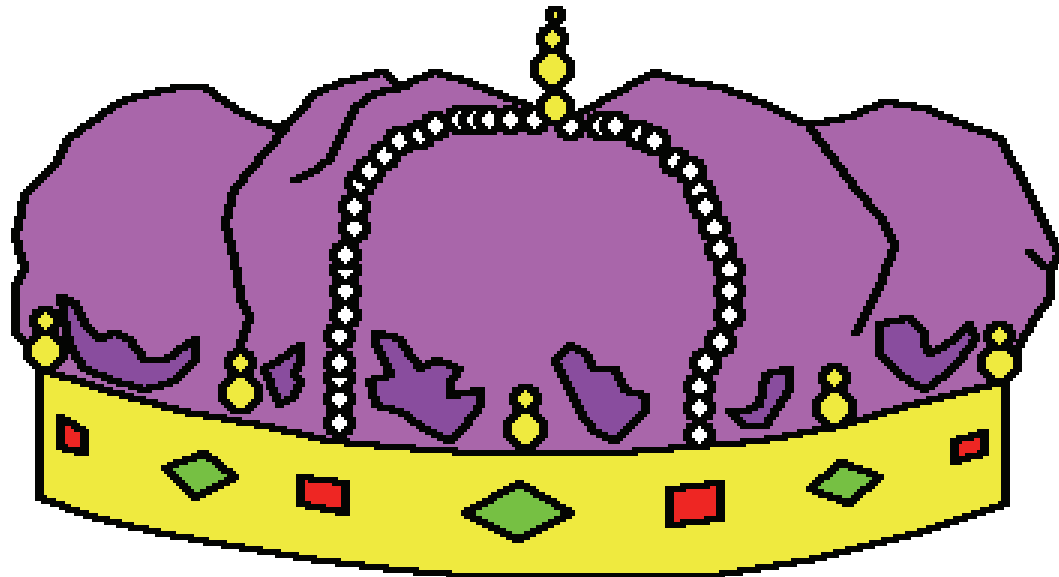


このままじゃ ^{なん}たいへんですね。何とかしなければ・・・。そこで、ある日のこ
^{とし}と、お年よりたちがあつまり、^{なに}何やらそうだんしてサムエルにたのみました。^ひ



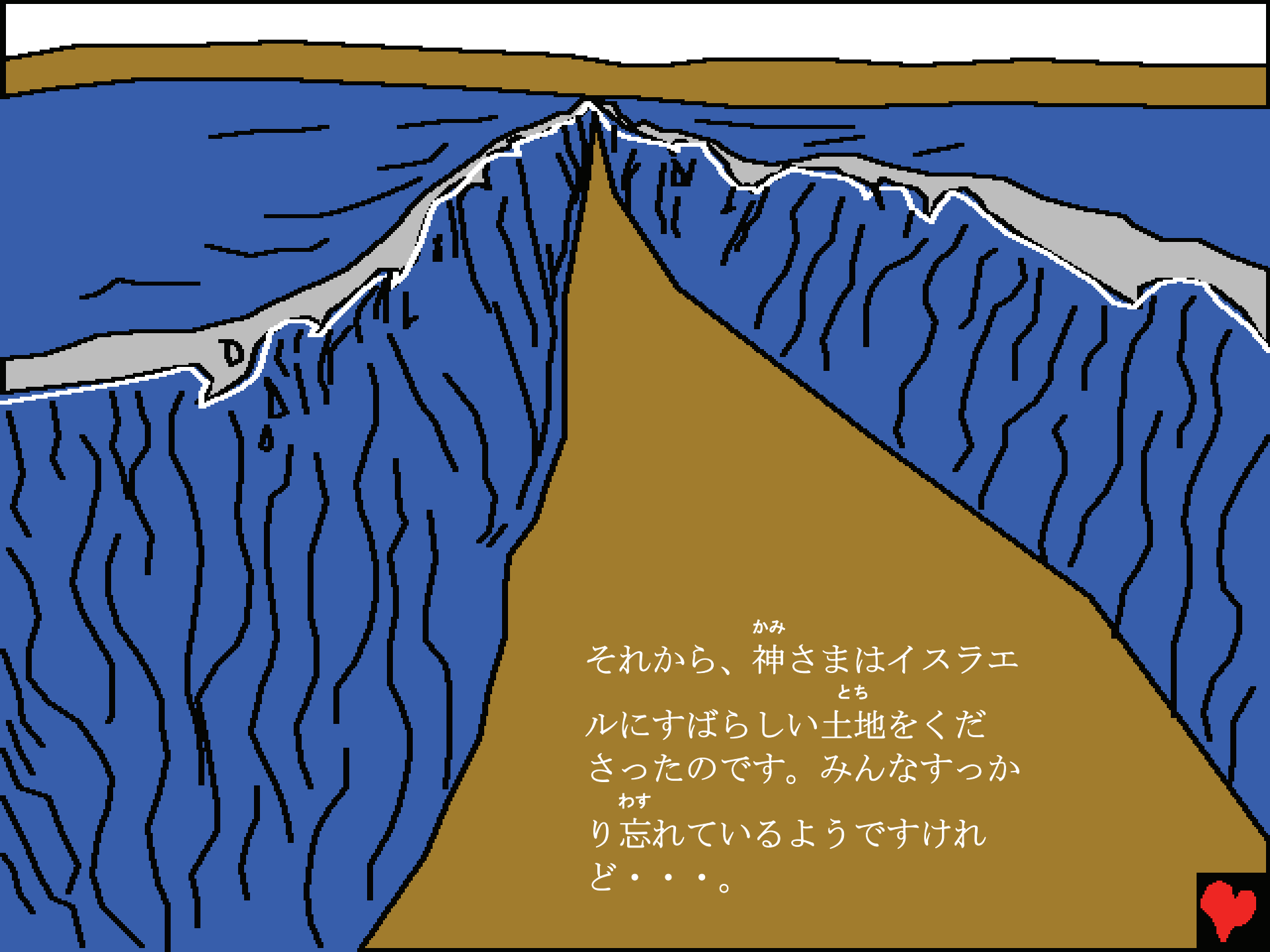
「ぜひ、わたしたちを正しく裁くあたらしい王さまを、与えてください。」

お年よりたちは、サムエルに何度もつよく言いました。かれらは、サムエルの
悪いむすこたちに、自分たちを裁いてもらうのは、もうまっぴらでした。かれ
らは、ちょうどイスラエルのまわりの国々と同じように王さまがほしかったの
です。



これを聞いたサムエルは、怒りましたよ。「イスラエルには、もう王さまがい
らっしゃるではないか。」と言ってね。神さまは、何でもおできになって、い
つまでもいらっしゃる方です。そして、わたしたちをずっと支配してくださっ
ているのです。その昔、神さまは、エジプトでどれいとなり苦しんでいたイス
ラエルの人々を、自由にしてくださり、そこからのがれるために、紅海に道をつ
くり、わたらせてくださったのでしたね。





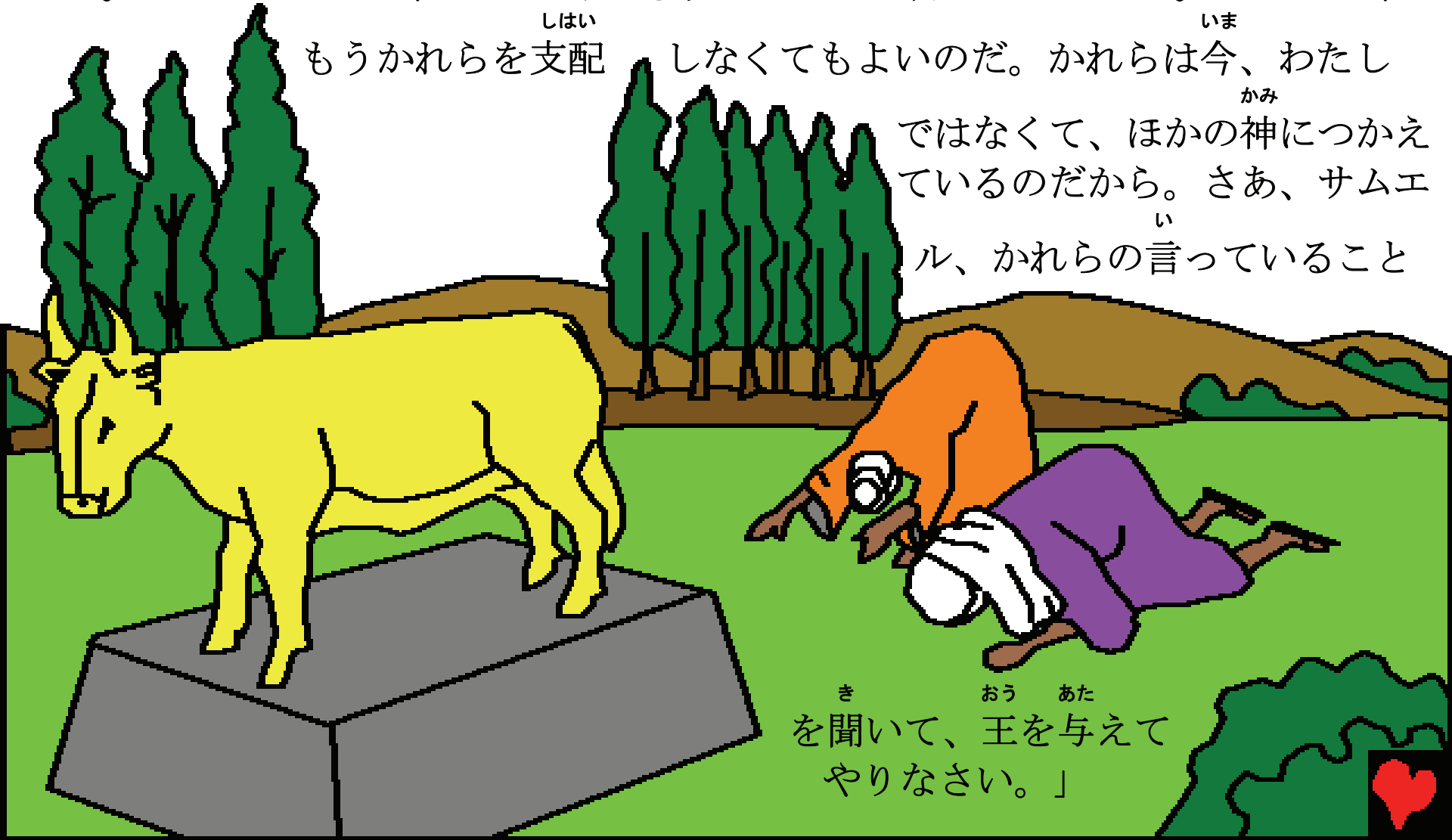
それから、神さまはイスラエ^{かみ}
ルにすばらしい土地をくだ^{とち}
さったのです。みんなすっか^{わす}
り忘れていたようですけれ
ど……。

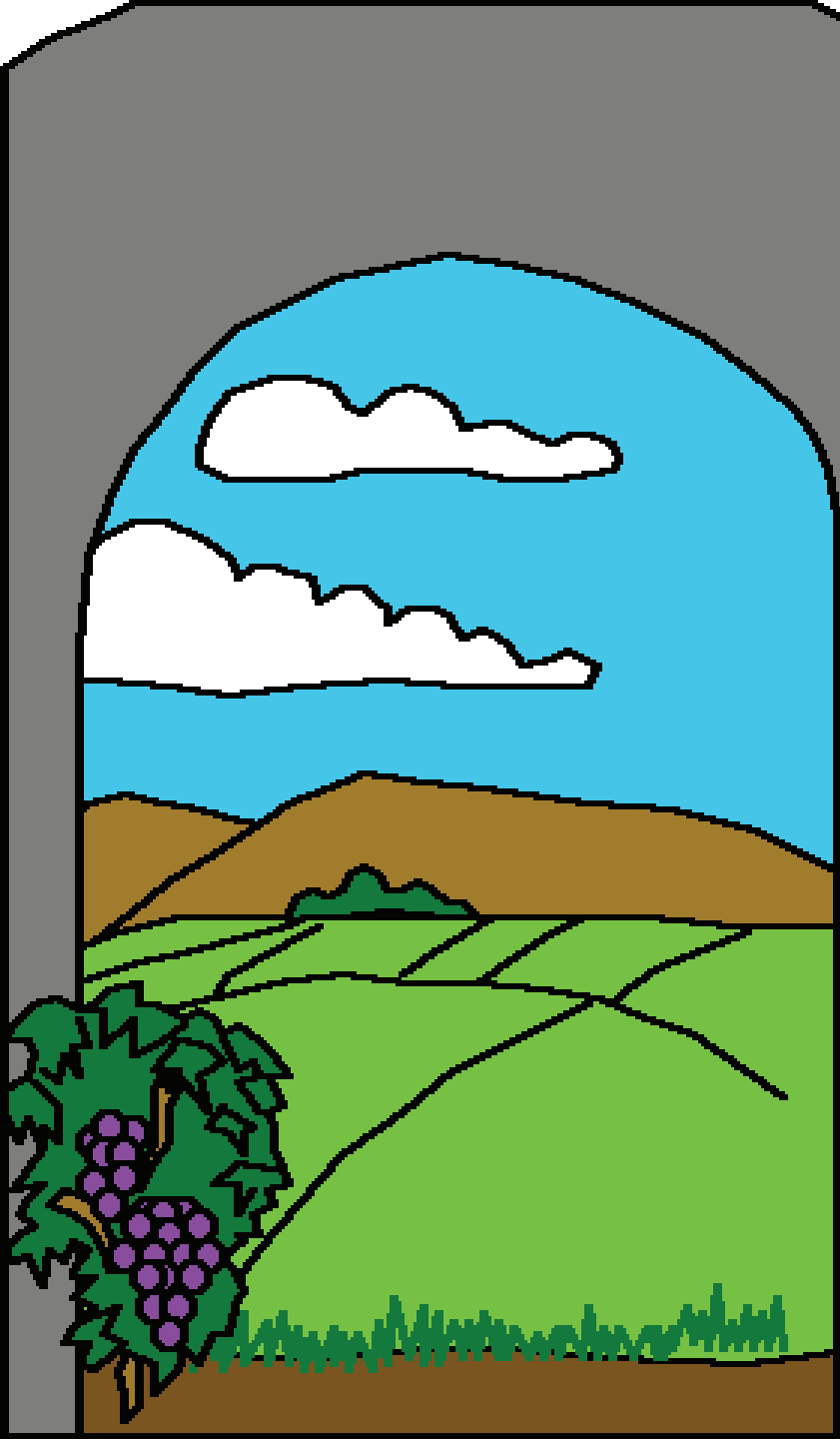


そこで、サムエルは祈りました。すると、神さまが答えてくださいました。「サムエル、イスラエルの人々は、あなたのことをいらないと言っているのではないのだよ。わたしのことを、つまり神はもういらないと言っているのだ。わたしは、もうかれらを支配しなくてもよいのだ。かれらは今、わたし

ではなくて、ほかの神につかえているのだから。さあ、サムエル、かれらの言っていること

を聞いて、王を与えてやりなさい。」





それから神さまは、^{かみ}言われ^いました。

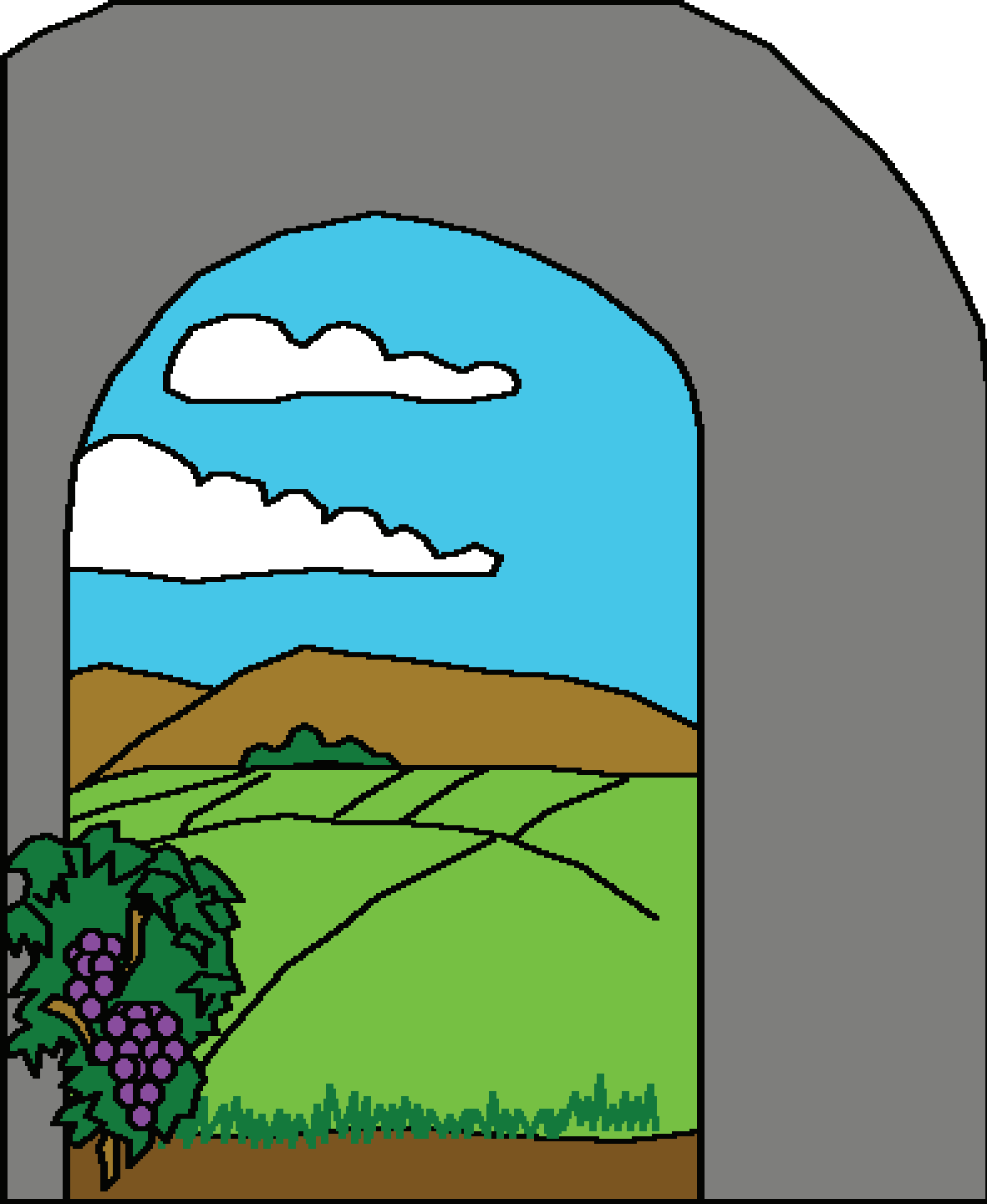
「サムエル、わたしが今から言う^{いま}ことを、イスラエルの人々に^い知らせなさい。」そこで、サ

ムエルは、みんなに神さまか^{かみ}らのことばを^{つた}伝えましたよ。

「イスラエルの人々よ、よく^{ひとびと}聞きなさい。この世での王^きは、あなたがたから、ぜい^よ金^{おう}を取り^{きん}たてる^とだろう。

また、いちばん良い地とブド^よウ畑^ちを取り^{ばたけ}あげて^としま^とう^とだろう。





むすこたちは、^{ぐん}軍^{はい}たいに入
らなければならぬだろ
う。そして、むすめたち
^{おう}は、王^{つか}のために仕えなけれ
ばならぬだろ。」



おう ぼたけ
王さまのぶどう畑

き ひとひと
それを聞いても人々は、
おう
やっぱり王さまがほしい
い
と言いはりました。

た い きんし
立ち入り禁止





あるとき、神さまはサムエルを1人のわかい男の人に会
わせられました。その人は、とてもハンサムで、とても
はずかしがりやで、それにととても背が高い人で
した。他のだれよりも、あたま1つ分く
らいは、高いようですよ。その人の
名前は、サウル。サムエルが、
サウルに会ったとき、主は言わ
れました。「このサウルが、
わたしの民イスラエルを
支配するだろう。」

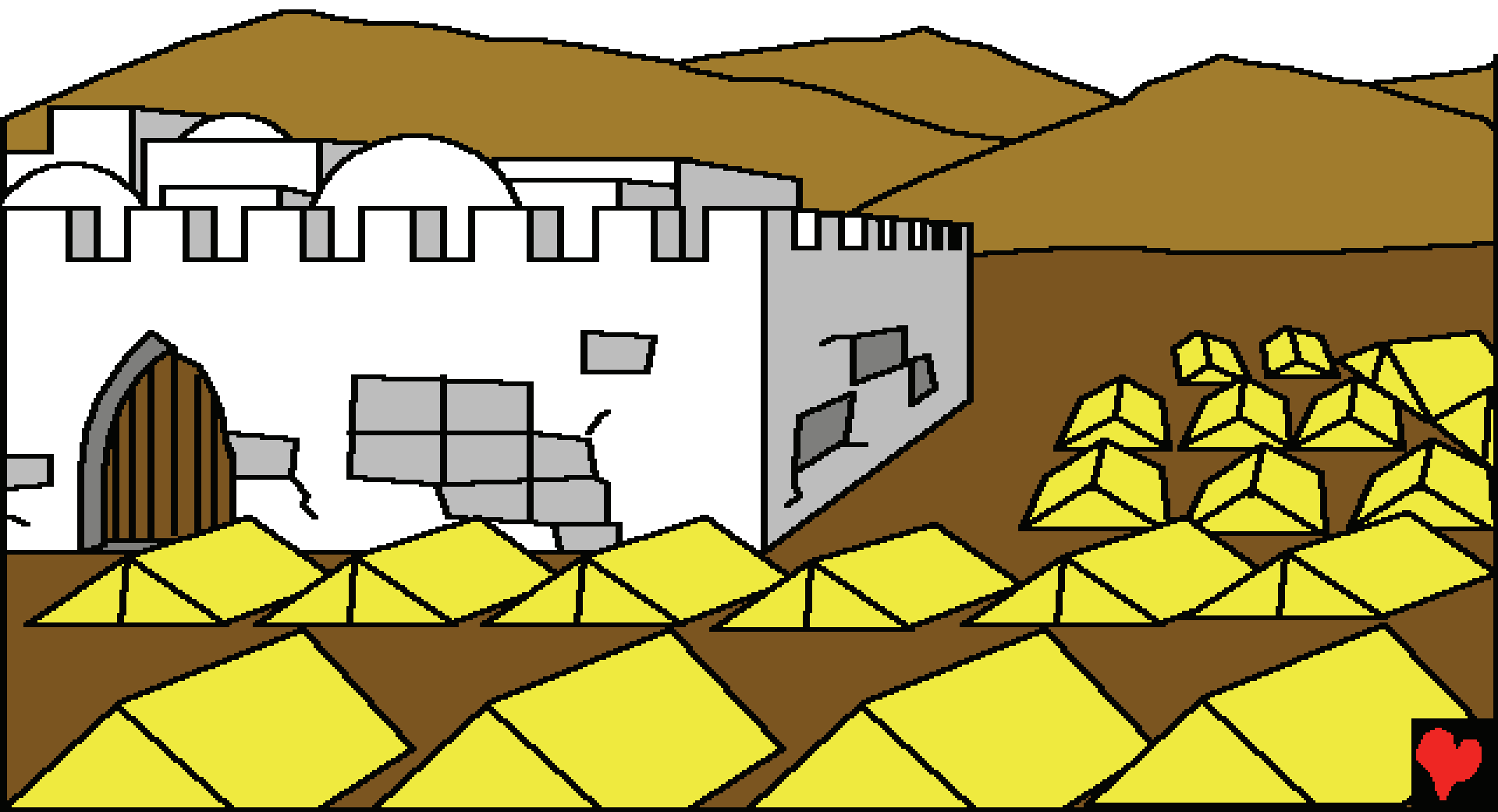




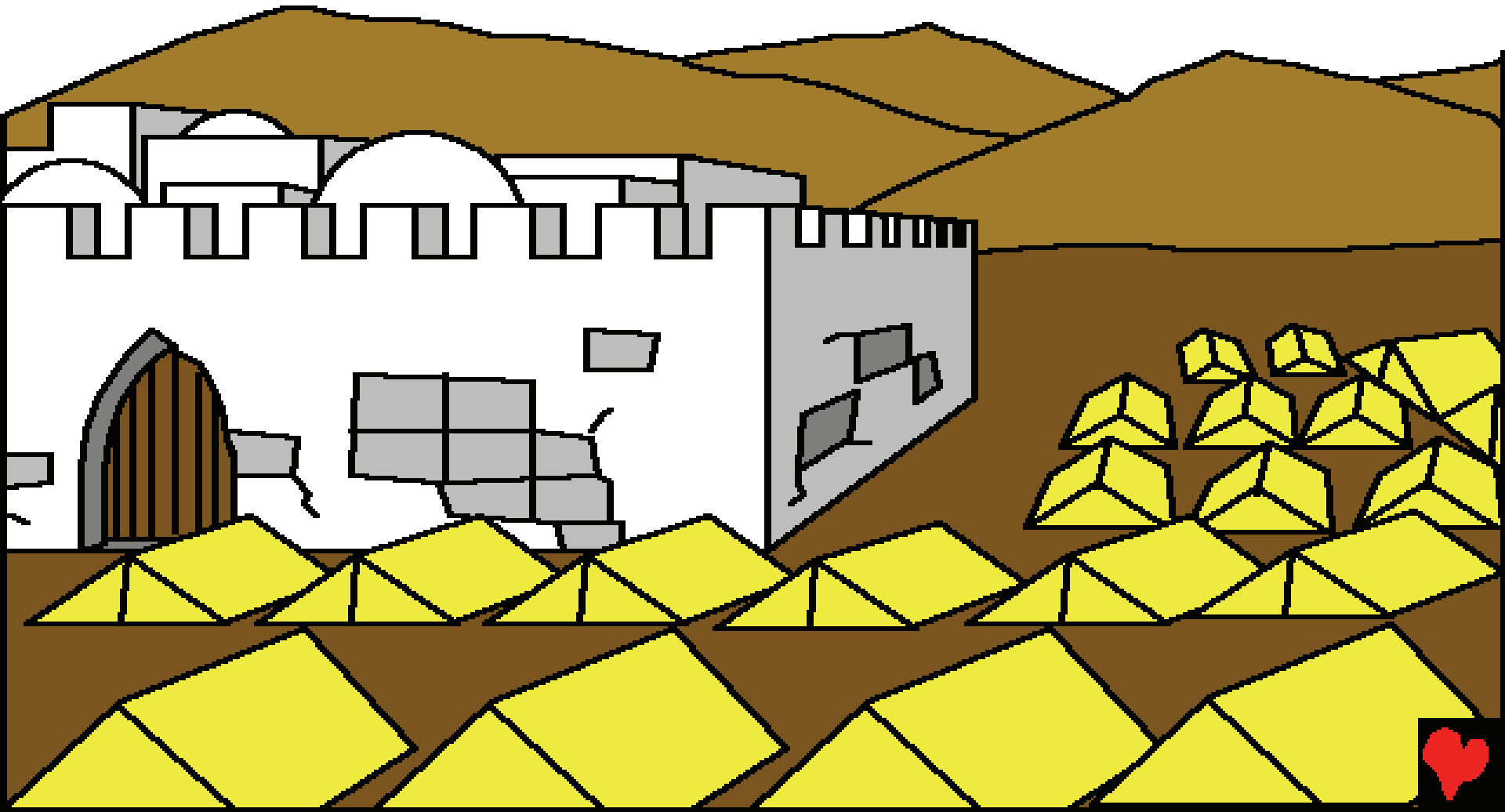
サムエルは、主のことばにすなおに
したが^{おう}い、サウルをイスラエルの王
として、かれのあた^{あぶら}まに油^{そそ}を注ぎ
ました。そして、サムエルはイスラ
エルの人^{ひと}たちの前^{まえ}にサウルをつれて
きますと、みんなはよろこびさけび
ました。「ばんざい！わたしたちの
王^{おう}さまだ！」



それからすぐのことです。サウル王は、さっそくつよい王さまかどうか、ためさ
れる時ときがやってきましたよ。イスラエルをにくんでいたアマネク人じんが、イスラエ
ルのある町まちを、取りかこみ、そこに住すんでいる人々ひとびとをおどかして、こう言いいまし
た。



す おとこ みぎ め
「おい！ここに住んでいる男たちみんなの右の目を、くりぬいてやるぞ。」
はなし おう つた
なんてひどいことでしょう！ そのおそろしい話は、すぐサウル王のところに伝
わりました。サウル王はすぐに軍たいをつくり、たたかう用意をしましよ。





こうして^{ふた}2つの^{ぐん}軍、アンモン
とイスラエルがたたかいまし
た。さあ、どちらが勝ったで
しょうか。そう、イスラエル
の^{ぐん}軍です。サウル王は、アン
モン人^{じん}たちをうち負かし、イ
スラエルのその^{まち}町を^{すく}救うこと
ができたのです。それはね、
サウル王が、神^{おう}さま^{かみ}からのつ
よい^{れい}霊の^{ちから}力をいただいたから
なのです。サウルは、みんな
に^い言いました。「今日、主が
わたしといっしょ^{きょう}にいて、イ
スラエル^{すく}を救ってくださった
のだ！」



ひ かみ しょうり
そうです。その日、神さまは、サウルにすばらしい勝利をくださいました。けれど、サウルは、いつも神さまの言われることをだいいとし、したがっていたわけではないのです。ちょうどペリシテ人との戦いの前のことです。ある日、

じぶん たたか まえ ひ
サウルは自分でかってに、神さまにささげ
もの
物をしましたよ。



かみ

じつはね、神さまへささげものをするのは、サウルではなくサムエルがするしごとでした。そしてサウルは、そのことを、よく知っていたのです。また、神さまがもうすぐサムエルが来るのでそれまで待つようにと、思われていることもよく

わかっていました。でも、サウルは、神さまにしたがいませんでした。



さて、そこにサムエルがやってきました。かれは、サウルのしたことを
し
い
知って言いました。「サウル、あなたはなんておろかなのだ。なんて

バカなことをしてしまったんだろう。なぜ、あなたの神、主とのやく
かみ しゆ

まも
そくを守ることができないのだ。もうこれからは、

おうこく
あなたの王国は

なが
長くつづ

かない

であろ

う。」



じぶん
サウルは自分がしたことは、ほんの小さな罪だと思っただけかもしれません
ちい つみ おも
ね。でもね、決してそうではないのですよ。神にしたがわないことは、
けっ かみ
どんなときでも、大きな大きな罪なのです。
おお おお つみ



それからしばらくして、神さまはサウルにめいれいしました。「アマレクの人々

かみ

ひとひと

ひとり

すべて1人のこらずやっつけてしまいなさい。」ところが、このときもサウルと

ひとひと

イスラエルの人々は、

かみ

神さまのめいれいにしたがわず、アマレクのアガ
おうころ
グ王を殺さない
いで生かしておいたのです。



かれらは、また ^{やく た}ウシやヒツジなど役に立

ちそう^よで良さそうなものだけをのこして、
^{じぶん}自分たちのものにしておきましたよ。

これらのものは、主^{しゅ}にささげるのだから
^と取っておくのだ^いと言ってね。



サムエルは、サウルに言いました。「サウル、神さまにしたがうということは、
ささげることよりも、もっとも大切たいせつなことなのだ。

あなたは、主しゅのことばきを聞きかなかった。だから主しゅも

また、あなたのことばきを聞きかれない。あなたは、

もうイスラエルの国王こくおうでなくなるのだ。」その

とき、サウルは自分じぶんがほんとうにまちがったこ

とをしていたこときに、気がつきました。でも、
もうおそすぎたのです。それからのサウル

の人生じんせいは、どうなったでしょう。ちっ
ともしあわせではなかったのす。

どうしてって、サウルは主しゅにした
たがおうとしなかったからで
すね。



ハンサムな、でも おろかな王さま

かみ み せいしょ する
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

きじょう しょう しょう
サムエル記上 8 章 - 16 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっしゃいます。それを、神さま
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをとも愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ じゅうじかじょう な
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくさいます。そして、いつまでもいエスさま
まといっしょにいることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってくさい。
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛す神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ
てくさいました。そして、よみがえって、いま生きて
いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてくさい。それで、私は今、あた
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす
けてくさい。アーめん

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなしましよう！ ヨハネによる福音書3：16

